



防災推進国民大会2023について

- **防災推進国民大会（通称「ぼうさいこくたい」）**は、産学官、NPO・市民団体や国民が日頃から行っている防災活動を、全国的な規模で発表し、交流する日本最大級の防災イベント。
- 2023年は関東大震災発生から100年に当たる節目の年であることから、2023年の第8回大会は、**関東大震災の震源地である神奈川県で開催**することを決定。
- **関東大震災100年に関連する官民のさまざまな行事等とも連携**を図りながら、国民に対して広く防災意識の啓発を図る。



開催場所

横浜国立大学
（神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1）

開催時期

2023年（令和5年）9月17日（日）・18日（月・祝）



（写真）横浜国立大学キャンパス

主催

内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議

内閣府セッション

関東大震災100年をテーマとしたメインのセッションを内閣府において企画予定

（写真）昨年のぼうさいこくたい（神戸市）の様子



谷大臣開会挨拶（オープニング）

ハイレベルセッション
「大災害とわたし
～トップリーダーがつなぐ
災害の経験と教訓～」



国連防災機関
水鳥氏（オンライン）



コープこうべ 中川氏 神戸市 久元市長 兵庫県 齋藤知事



時事通信 中川氏 兵庫県立大 阪本教授 内閣府 上村審議官

第1回

- 【テーマ】大規模災害への備え
～過去に学び未来を拓く～
- 【日時】2016年8月27日(土)・28日(日)
- 【場所】東京大学 本郷キャンパス
- 【実績】
- (1) 出展団体数 61団体
 - (2) 出展数 82催事
 - (3) 来場者数 約12,000人
 - (4) 動画生中継閲覧数 約12,000人



開会宣言を行う松本防災担当大臣

第2回

- 【テーマ】大規模災害に備える
～みんなの連携が力になる防災～
- 【日時】2017年11月26日(日)・27日(月)
- 【場所】仙台国際センター
- 【併催】世界防災フォーラム2017防災産業展
仙台市主催：せんだい防災パビリオン
主催挨拶：村井 宮城県知事、郡 仙台市長
- 【実績】
- (1) 出展数 118団体(セッション：26, ブース：49, ポスター：21, 屋外展示：22)
 - (2) 来場者数 約10,000人
 - (3) 動画生中継閲覧数 約1,000人



(左)東京消防庁 車両展示

(右)ブース展示 (小此木 防災担当大臣視察)

第3回

- 【テーマ】大規模災害に備える
～みんなの連携の輪を地域で強くする～
- 【日時】2018年10月13日(土)・14日(日)
- 【場所】東京ビッグサイト、そなエリア
- 【併催】東京都主催「防災展2018」
開催都市挨拶：小池 東京都知事
- 【実績】
- (1) 出展数 105団体(セッション：35, ブース：45, ポスター：18, テントブース：9, ワークショップ：7, 屋外展示：5)
 - (2) 来場者数 約12,000人



(左)オープニングセッション (小此木防災担当大臣挨拶)

(右)東京ビッグサイト ブース展示の様子

第4回

- 【テーマ】大規模災害に備える
「まなぶ、つながる、つよくなる」『防災を、もっと日常に』
- 【日時】2019年10月19日(土)・20日(日)
- 【場所】名古屋市ささしまライブエリア
- 【併催】愛知県・名古屋市主催
「あいち・なごや防災フェスタ」
開催都市挨拶：大村 愛知県知事、河村 名古屋市長
- 【実績】
- (1) 出展数 211団体(セッション：28, ワークショップ：43, ブース：66, ポスター：30, テントブース：33, 屋外展示：11)
 - (2) 来場者数 約15,000人



(左)オープニングセッション (武田大臣開会ビデオメッセージ)

(右)テントブースの様子

第5回

- 【テーマ】頻発化する大規模災害に備える
～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～
- 【日時】2020年10月3日(土)
- 【場所】オンライン開催
(広島市の会場で開催予定をオンラインに変更)
- 【実績】
- (1) 出展数 117団体(セッション：22, ワークショップ：11, プレゼンテーション：84)
 - (2) 視聴数 15,545回
 - (3) 閲覧回数 (PV数) 94,782回



オープニングセッション
小此木大臣より開会挨拶



ハイレベルセッション
(広島スタジオの様子)

第6回

- 【テーマ】～震災から10年～
つながりが創る復興と防災力
- 【日時】2021年11月6日(土)・7日(日)
- 【場所】岩手県釜石市 釜石市民ホールTETTO周辺
(現地参加とオンライン参加を組合せて開催)
- 【併催】「津波防災の日スペシャルイベント」(11月5日)
「防災×テクノロジー-官民連携プラットフォーム」マッチングセミナー
- 【実績】
- (1) 出展数 171団体、展示数 187催事
(セッション：40, ワークショップ：24, プレゼン：100, 屋外展示：23)
 - (2) 現地来場者数 約5,800人
 - (3) オンライン視聴数 約10,800回



オープニングセッション
二之湯大臣より開会挨拶



オープニングディスカッション
(東日本大震災の伝承と防災)



防災推進国民大会2022開催概要



国民の防災意識向上のため、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一堂に集う「防災推進国民大会(ぼうさいこくたい)2022」を実施。現地参加とオンライン参加を組合せたハイブリッド形式で開催。

大会概要・内閣府主催セッション

テーマ：未来につなぐ災害の経験と教訓
～忘れない、伝える、活かす、備える～

日時：2022年10月22日(土)・23日(日)

開催地：兵庫県 神戸市 HAT神戸を中心とするエリア

主催：防災推進国民大会2022実行委員会
(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

実績：出展数 **延べ319団体**、**282催事** (セッション:41、ワークショップ:31、
プレゼン:104、ポスターセッション:46、屋外展示:31、ステージ発表:20、その他:9)

現地来場者数 **約12,000人**、オンライン視聴数 **約11,000回**

併催：「ALL HATひょうご防災フェスタ2022」(人と防災未来センターなど)
「防災×テクノロジー-官民連携プラットフォーム」マッチングセミナー(内閣府)
「あなたは、大切な人を救えますか？」(日赤兵庫支部)
「令和4年度災害廃棄物対策推進シンポジウム」(環境省)



谷大臣開会挨拶
(オープニング)



星野副大臣閉会挨拶
(クロージング)



国連防災機関
水鳥氏(オンライン)

ハイレベルセッション
「大災害とわたし
～トップリーダーがつなぐ
災害の経験と教訓～」



時事通信
中川氏

兵庫県立大
阪本教授

内閣府
上村審議官



オープニングディスカッション
「未来につなぐ教訓と防災教育」



コープこうべ 中川氏

神戸市 久元市長

兵庫県 齋藤知事

他のプログラム例

○ 現地共同企画 伝承セッション2022

「100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐる」
をテーマにパネリストが討議。
※ぼうさいこくたいを盛り上げるために、
地元の防災の担い手を中心となり立ち上げた
“情報共有会議”によって誕生した共同企画。



○ 日本学術会議IRDR分科会主催セッション

南海トラフ地震等の将来の国難級災害を
乗り越えるためのレジリエンス確保の
あり方について討議。



○ ステージ発表

出展団体の取組をステージで15分間発表。
今回初の試み。



○ ワークショップ

楽しく防災を学べるカードゲームや、
スタンプラリーなど来場者参加型の
イベントを各団体が主催。



○ 屋外展示

災害用トイレや、災害医療トレーラー、
車中泊避難のための車両、給電車など
多数展示。



○ プレゼンテーション・

ポスターセッション
各団体等の活動をブース
やパネルで紹介。





防災推進国民大会2023の出展タイプ（検討中のもの）

セッション

講演やパネルディスカッションを行う

- (例) ・現地共同企画 伝承セッション2022
 「100年後の共感へ バズる災害伝承をさぐろう」
 をテーマにパネリストが討議。
 ※ぼうさいこくたいを盛り上げるために、
 地元の防災の担い手を中心となり立ち上げた
 “情報共有会議”によって誕生した共同企画。
- ・日本学術会議IRDR分科会主催セッション
 南海トラフ地震等の将来の国難級災害を
 乗り越えるためのレジリエンス確保の
 あり方について討議。



ワークショップ

来場者参加型のワークショップを行う

楽しく防災を学べるカードゲームや、
 スタンプラリーなど来場者参加型の
 イベントを各団体が主催。



プレゼンテーション

出展者がブースに常駐して来場者に説明を行う



ポスターセッション

会場でポスター展示を行う

各団体等の活動をブース
 やパネルで紹介。



屋外展示

車両展示や屋外テントで展示を行う

災害用トイレや、災害医療トレーラー、
 車中泊避難のための車両、給電車などを
 展示。



イグナイトステージ

出展団体の取組をステージで15分間発表を行う



※ このほか、提案型のオリジナルセッション等
 について、検討中。